

調査報告書サマリー

マルチクライアントレポート

『グローバルでの地域別ドキュメントスキャナ市場動向調査』

《2021/2022 年版》

株式会社 インターウォッチ

東京都千代田区神田須田町1-12-8

JLB グランエクリュ神田 1001

TEL 03-3526-6461

FAX 03-3526-6462

E-mail : interwatch@iwco.co.jp

[調査概要]

1. 調査趣旨

本調査は、ドキュメント（業務用）スキャナの市場について、その最新動向等を調査・分析していくもので、関連事業分野の拡大・発展のための一助とすることを目的とする。

2. 調査対象

- 1) ドキュメント（業務用）スキャナ

3. 調査対象先

- 1) 富士通（PFU）
- 2) キヤノン（キヤノン電子）
- 3) セイコーエプソン
- 4) ブラザー工業
- 5) パナソニックコネクテッドソリューションズ
- 6) コダックアラリス
- 7) スキャナ連携ソフトウェア会社
- 8) スキャナ関連 SIer 等

4. 調査方法

- 1) 調査対象先への国内直接訪問面接調査
- 2) 関連業者（部材メーカー／販社など）への情報収集活動
- 3) 弊社蓄積データ、オープンデータの活用

5. 調査期間

- 1) 調査期間
2021年10月～2021年12月
- 2) 調査報告書発刊日
2022年1月18日

6. 調査報告書価格

¥ 600,000-（消費税別途）

7. 調査担当

岩崎真理雄 誉田和也

【目次】

I. 市場調査

1. 業務用スキャナ市場動向（2015年～2021年、2022年見込、2023年～2024年予測、 クラス別（価格帯、画質、速度、用紙サイズ等）	1
1) ワールドワイド市場	1
(1) 販売台数	1
(2) 販売金額	2
2) 国内市場	3
(1) 販売台数	3
(2) 販売金額	4
3) 中国市場	5
(1) 販売台数	5
(2) 販売金額	6
4) アジア市場（中国を除く）	7
(1) 販売台数	7
(2) 販売金額	8
5) 欧州市場	9
(1) 販売台数	9
(2) 販売金額	10
6) 米国市場	11
(1) 販売台数	11
(2) 販売金額	12
7) その他市場	13
(1) 販売台数	13
(2) 販売金額	14
2. 2020/2021年の動向・トレンド	15
1) 2020/2021年の新製品	15
2) 市場の動向（規制、景気、他機器へのシフト等）	18
(1) 規制	18
(2) 景気	20
(3) 他機器へのシフト	20
3. 顧客のニーズ	22
1) 業種及び用途（業務内容）導入目的	22
2) 大量スキャニング業務における業種及び用途（業務内容）導入目的	24
II. 個別メーカー動向調査	25
1. 市場シェア（2020年、台数/金額ベース及びクラス別地域別（価格帯、画質、速度、 用紙サイズ等）	25
1) レンジ別	25

(1) ハイエンド	25
(2) ミッドレンジ	26
(3) ローエンド	27
2) サイズ別	28
(1) A3	28
(2) A4	28
3) 地域別	29
(1) 日本	29
(2) 中国	30
(3) アジア	30
(4) 欧州	30
(5) 北米	31
(6) その他	31
4) 地域別・クラス別販売台数 (2020年)	32
2. 富士通 (PFU)	33
3. キヤノン電子	50
4. セイコーエプソン	67
5. ブラザー工業	80
6. パナソニックコネクテッドソリューションズ	93
7. コダックアラリス	105
8. Hewlett Packerd (参考)	119

【各社共通項目】

- 1) 業務用スキャナ事業の位置付け、事業構造等
- 2) 業務用スキャナ事業のドライビングフォース
- 3) 業務用スキャナ事業の利益及び売上、ビジネスの仕組み、等
- 4) 提供している商品：サービス
- 5) 販売チャンネル
- 6) 開発・生産体制
- 7) トレンド
- 8) 全社売上、営業利益 (各年度)、スキャナ事業の位置付け
- 9) 事業別売上、営業利益 (2020年)
- 10) スキャナ事業のワールドワイド販売数量・金額
- 11) スキャナ事業の地域別販売数量
- 12) スキャナ原価/コスト

参考1. スキャナ付属、連携ソフトウェアについて	123
1) 連携ソフトの種類、機能など	123
2) 各社の連携ソフトとその役割	123
3) 主要 MFP メーカーなどを含む OCR 機能の動向について	124
4) 新型コロナによるスキャナ業界への影響について	133
参考2. ドキュメントスキャナ一覧 (2021年12月段階：日本国内)	137

【ドキュメントスキャナのクラス別 (High, Middle, Low-End 商品) の定義について】

本レポートにおいてドキュメントスキャナのクラス別区分については、下記のように価格帯とスピード帯を基準として分類した。

<価格帯による区分>

クラス	定義
ハイエンド	A3 以下 1,170,000 円以上のモデル
ミッドレンジ	A3 以下 60,000 円以上 1,170,000 円以下のモデル
ローエンド	A3 以下 60,000 円以下のモデル

<スピード帯による区分>

クラス	定義
ハイエンド	100ppm 以上のモデル
ミッドレンジ	25ppm 以上 100ppm 以下のモデル
ローエンド	25ppm 以下のモデル

※価格帯が基本分類としているが、価格帯とスピード帯の定義が合わないモデルについては、スピード帯を優先して区分している。

例えば、117 万円以下のモデルであるにも関わらず、100ppm 以上のスピード帯であればハイエンド商品として区分する。

お申込書

資料名	2021/2022 年版 『グローバルでの地域別 ドキュメントスキャナ市場動向調査』
貴社名	
所属	
お名前	
ご住所	〒
TEL/FAX	
E-Mail	@

上記欄にご記入の上、FAX、または郵送、E-mailにてお送り下さい。
お電話でのお問い合わせでも結構です。

TEL : 03-3526-6461

FAX : 03-3526-6462

E-mail : interwatch@iwco.co.jp

担当 : 岩崎 真理雄